

【活動事例の紹介】

教室名

Minami ふれあいスクール（熊谷南小学校）

取組内容

（１）実施内容

① うちわ祭のお囃子体験 ４７名

一昨年と昨年はコロナ禍で実施できなかったが、今年で１０年目を迎える、参加者が最も多い教室である。熊谷南小学校区にある「荒川区」・「伊勢町区」の２つの町内のお囃子会の方においでいただき、５月２８日（土）うちわ祭のお囃子体験を実施した。

② パソコン教室（親子でプログラミング体験）１６名

９月３日（土）、プログラミングキットを使って、信号機を動かす体験をした。本校職員が講師となり、「信号機の点滅プログラミング体験」を親子で体験した。

（２）事前の準備

① うちわ祭のお囃子体験

２つの町内の方が講師となり実施した。事前に講師と日程等の連絡調整を行うとともに、運動用のマットを丸めて当日の練習用太鼓を事前に準備した。受付で健康観察を行うとともに、マスク着用の他に、消毒液の準備や換気等に気を付ける等、感染症対策をした。

② パソコン教室（親子でプログラミング体験）

講師を担当した職員がテキストを作成した。受付で健康観察を行うとともに、マスク着用の他に、消毒液の準備や換気等に気を付ける等、感染症対策をした。また、受付と会場のＰＣ室の入口に消毒液を置き感染症対策をした。一昨年度購入したプログラミングキットと社会教育課よりプログラミングキットを借りて実施した。



【５月 お囃子体験の様子】



【９月 パソコン教室の様子】

工夫した点・ポイント

① うちわ祭のお囃子体験

熊谷の伝統文化の一つである「うちわ祭」のお囃子に触れることや継承することをねらいとしている。また、何人かの職員がお手伝いをしてくれたので運営もスムーズに行うことができた。

② パソコン教室（親子でプログラミング体験）

社会教育課でプログラミングキットを借用し活用することで、昨年より多くの親子が参加することができた。また、本校の職員を講師に依頼することで事前の打ち合わせがスムーズに行えた。

成果・今後の展望

- 過去２年間実施できなかったお囃子体験を実施したことで、伝統文化への関心を高めることにつながったと考える。また、実施することで地域のお祭りである「うちわ祭」の伝統継承につながっていくと考える。
- パソコン教室は講師の知識や専門性が求められる。お手伝いをした職員がサポートをすることで指導者の養成にもつながった。今後も講師の選任が課題である。
- コロナ禍であり、調理体験（うどん作り体験）等の工夫、もしくは見直し求められる。